↑ボール を奪い合う選手たち

地元チームが奮闘
染川杯争奪サッカー大会

第 13 回染川杯争奪中学生サッカー大会は 12 月 12 日・13 日の 2 日間、県内各地からの参加を得て、川床コミュニティ運動場で開催されました。

開会式で、濵田重則大会会長は、日本代表岡田監督の「 先を読める選手を選びたい 」というコメントを紹介しながら選手を激励。大会は中学生のファイトあふれる対戦で終日にぎわい、知覧中学校が総合優勝しました。

町内の川床・平尾中合同チームは 2 位グループトーナメントに進出し、同決勝戦で米ノ津中を 3 － 2 で下し、見事優勝しました。

地元チームの快進撃に、応援に駆け付けた保護者たちから大きな声援が送られていました。

風船の犬やキャラクターに笑顔
ラッコ教室にボランティアが協力

町は毎月 2 回子ども教室「ラッコ教室」を開催していますが、12 月 18 日はいつもと一風変わった教室となりました。

この日は鹿児島市の「バルーンボックス」の 2 人がボランティアで駆けつけてくれました。 2 人は楽しい音楽にのせて犬やイモムシ、ギター、アニメキャラクターなどを風船でつくるバルーンアートを披露してくれました。

この教室に参加した子どもたちは、風船が幾重にも曲げられていくと不思議そうな表情を見せましたが、作品が完成したとたんに笑顔を見せ、うれしそうにはしゃいでいました。

↑バルーンアートで盛り上がった教室

↓デコポンを摘み取る研修生（右）と南條さん

味の出し方など学んだ
韓国から農業研修生来町

11 月から 1 月にかけて、韓国から本町の農家に研修生が訪れています。

この研修に参加しているのは、韓国済州大学の特別教育課程で学んでいる韓国の農業経営者 3 人です。 3 人は温州ミカン栽培者や農業生産法人の社員で、本町の柑橘栽培農家に住み込みで学習しています。

12 月 25 日には、萩之牟礼の南條武利さん宅でヒョン・スンヒョップさんがデコポンの栽培法を学んでいました。ヒョンさんは「味を出すため、水切りをすることなどを学んだ。韓国で役立てたい」と話していました。